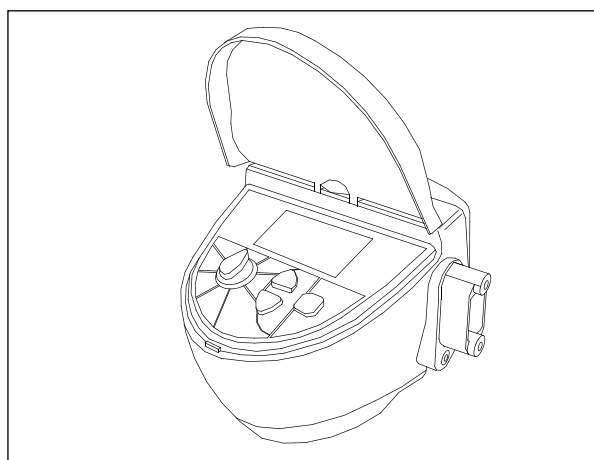


C10SBC001 / C10SBC002-1
C10SBC011 / C10SBC012-1
C10SBC001R / C10SBC011R

簡易コントローラーC

この度は「簡易コントローラーC」をご購入頂きありがとうございます。
ご使用の前に本書をよく読み、注意事項を守りご使用下さい。
また、本書は大切に保管しておいて下さい。
万一不具合、不明な点がございましたら、下記までお問合せ下さい。



—— 目次 ——

1	ご使用の前に	2ページ
2	各部の名称	4ページ
3	取り付け	5ページ
4	操作方法	9ページ
5	よくあるQ&A	20ページ

日常ご使用して頂くお客様へ



- ◆冬季に凍結の恐れがある場合は、蛇口接続部分を外して、本体内に残っている水を抜いて室内にて保管して下さい。【水抜き手順は18ページを参照下さい。】
- ◆コントローラーの乾電池【9Vアルカリ電池】は1年に1度は必ず交換して下さい。動作不良の原因になります。
- ◆機械設備の為、正しい使用方法及び状態でも故障する可能性があります。万一故障した場合、使用製品以外の損害が発生する事もありますので、設定通りに作動しているか、水の出具合に漏水等の異常は無いのか、散水箇所の植栽等に大きな変化は無いのか必ず日常点検を実施して下さい。

取付工事担当者様へ



- ◆本製品の設置には別途「9Vアルカリ電池」、「プラスドライバー#1」をご用意下さい。【マンガン電池は使用出来ません。】
- ◆配送時の衝撃等で電磁弁が開いている場合があります。お手数ですが【16ページ】を参考に復旧して下さい。
- ◆この説明書と製品保証書は、工事完了後は必ず管理者様、施主様（日常操作可能な方）にお渡し下さい。お手数をお掛けして申し訳ございませんが、よろしくお願い致します。

グローベン株式会社

URL <http://www.globen.co.jp>
Email info@globen.co.jp

本社(営)	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-829-0800 FAX 052-829-0801	関西(営)	〒666-0016 兵庫県川西市中央町18-26 TEL 072-755-8075 FAX 072-755-8077
関東(営)	〒101-0024 東京都千代田区神田和泉町1-6-13 KHビル1階 TEL 03-5829-9511 FAX 03-5829-9523	商品センター	〒455-0025 名古屋市港区本星崎町字南3998-31 TEL 052-619-6788 FAX 052-619-6786

コントローラー設置日: 年 月 日

1. ご使用の前に

取扱説明書に記載する表示について

本書には安全に関する重大な内容を表記してあります。
表示と意味は以下のようになっております。



警告

警告事項を守らない場合には死亡や重傷に至る重大な事故を起こすおそれがあります。

- 本製品は自動散水制御専用の機器です。違う目的に使用したり、改造しないで下さい。
- 電池切れによる停止や誤作動などの原因で、使用製品以外に深刻な損害の出る事があります。必ず日常点検を行い、電池切れや誤作動がないか確認して下さい。
- 本製品を使用する場合は水道水をご使用下さい。汲み上げた水の場合は機器に不具合や誤作動が生じる事があります。
- 冬季など凍結により内部電磁弁が破損する恐れがあります。取り外して電磁弁内の水抜きを行って下さい。【手順は18ページを参照下さい。】



注意

注意事項を守らない場合には、怪我をしたり、製品が損傷する場合があります。

- 散水機器の使用は上水道もしくは、清水を必ず使用して下さい、井戸水、雨水などの場合には十分にろ過を行ってから使用して下さい。ろ過が不十分の場合には機器の動作不良の原因になります。
- 散水機器を使用しての薬剤散布は行わないで下さい。
- 散水機器のフィルター、本体の汚れは必要に応じて水で洗浄して下さい。溶剤、薬品は使用しないで下さい。
- 付属の専用簡易保護カバーは凍結を完全に防止する物ではありません。
- 凍結時、または凍結が予想される場合には使用を中止して、蛇口から取り外し水抜きを行って下さい。【手順は18ページを参照下さい。】
- センサーは当社指定の物をご使用下さい。
- グローベン自動散水システムは散水機器に適した範囲の水圧でご使用下さい。水圧が基準範囲外の場合散水が機能しなかったり、機器が破損する場合があります。水圧が高い場合は給水側で水圧調整を行うか専用の減圧弁をご使用下さい。適切な水圧については下記をご参照下さい。

使用水圧

ドリップチューブ、簡易ポイントタイプ: 150~300Kpa

※コントローラー本体の作動水圧は150Kpa~500Kpaです。

- グローベン自動散水システムは散水を補助するものです。使用中に植物等に被害が生じても、当社は責任を負いかねますので予めご了承頂く様お願い申し上げます。
- 設置の際には以下の場所を避けて下さい。機器が誤作動する場合があります。
 - 高周波ノイズ・電界・磁界の強い場所
 - 振動や衝撃の発生する場所
 - 湿気や粉塵、腐食性ガス（アンモニア、亜硫酸等）のある場所
- コントローラー設定後は必ず上部カバーを閉めて下さい。カバーが空いた状態で雨水などが侵入するとコントローラーが故障する恐れがあります。

製品保証について

本製品の製品保証については、製品出荷時に添付してある保証書をご参照下さい。

梱包内容



・電池とプラスドライバーが別途必要です

機種によって梱包内容が異なります。お手数ですが、設置前にご確認下さい。

立水栓用

C10SBC001

●コントローラー本体（センサーブラケット、壁面固定ブラケット付）

●ネジロ金 ●ホースコネクター ●16mmスタート ●16mmクランプ ●蛇口水栓用コネクター ●簡易保護カバー



以上各1個：すべてパッケージ内に同梱されています。

散水栓用

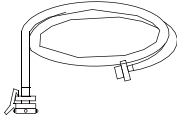
C10SBC011

●コントローラー本体（センサーブラケット、壁面固定ブラケット付）

●ネジロ金 ●ホースコネクター ●16mmスタート ●16mmクランプ ●簡易保護カバー



※耐圧ホース



※両オスニップル



本体固定用のビスは
付属しておりません。

以上各1個：●印の物はパッケージ内に同梱。
※印の物は別梱包です。

レインセンサー付

C10SBC001R/C10SBC002R

コントローラー本体にレインセンサーが取付してあります。付属の部品は立水栓用と散水栓用の通常品とそれぞれ同じで、すべて同梱してあります。

減圧弁付

C10SBC002-1/C10SBC012-1

◆簡易減圧弁が1個が付属、その他部品は立水栓用と散水栓用の通常品とそれぞれ同じで、別梱包で付属しています。

商品仕様

サイズ(本体のみ)	127×135×135 (単位：mm)
重量(本体のみ)	485g (電池を入れた場合 530g)
電源	9V形電池 1本使用【別売】 アルカリ電池使用 電池寿命 約1年 【マンガン電池、使用中の電池は使用しないで下さい。】
設定時間	1分 ~99分
設定回数	1回~2回
設定曜日	曜日指定可能
給水接続口径	20A(電磁弁) 入：20Aメネジ/水栓コネクター(付属) 出：20Aオネジ/16mmスタート(付属)

2.

各部の名称

本体各部

※図はC10SBC001

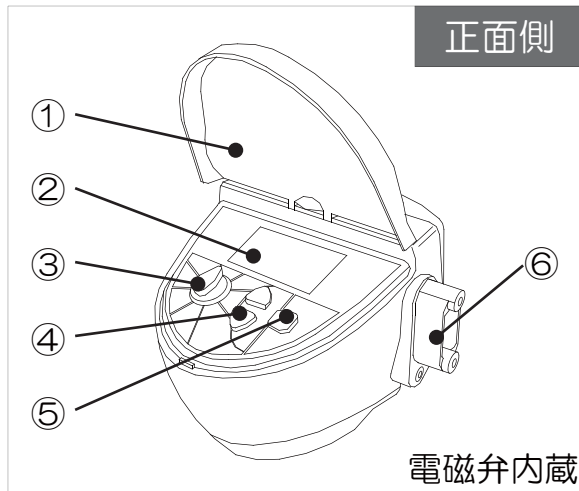
ご使用の前に

各部の名称

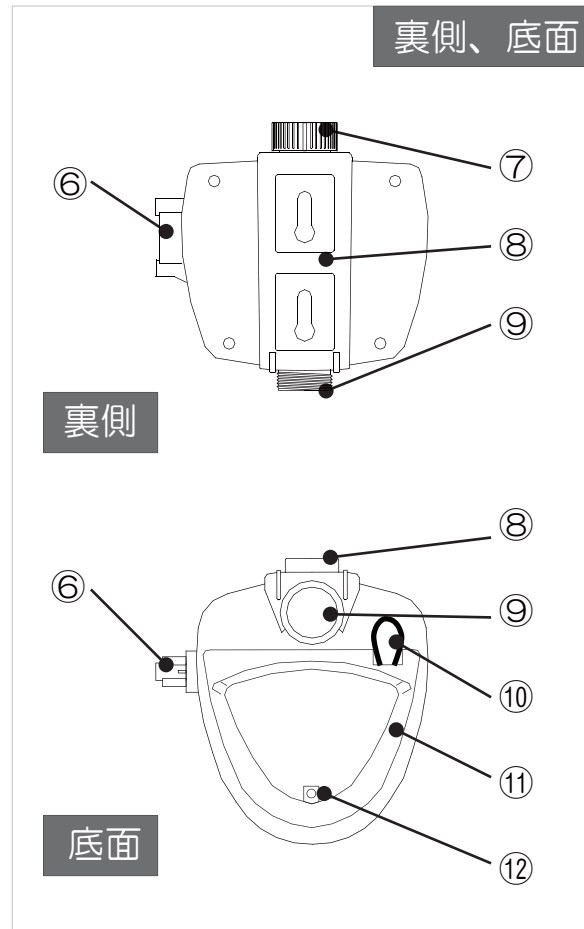
取り付け

操作方法

よくあるQ&A



- ① 上部カバー
- ② 液晶画面(次ページ参照)
- ③ ダイヤル
- ④ 操作ボタン「+」、「-」
- ⑤ 操作ボタン「OK」
- ⑥ センサー用ブラケット
- ⑦ 入水口(20Aメネジ)
- ⑧ 壁面固定用ブラケット
- ⑨ 出水口(20Aオネジ)
- ⑩ センサー接続用ケーブル
- ⑪ 電池カバー
- ⑫ 電池カバー固定ネジ



液晶画面

・時刻/・散水時間

待機時は現在時刻を表示、設定時は開始時刻、散水時間などを表示します。

・曜日/・散水日

本日の曜日を数字で表示し散水日を○囲み表示します。

表示	1	2	3	4	5	6	7
曜日	月	火	水	木	金	土	日

・散水回数

1回目、2回目の散水時間を表示します。1日2回設定している時は「T1 2」の表示です。

・設定

設定時に表示します。各設定により、画面が異なります。

・散水時間

【Duration】表示中は散水時間を設定が可能です。

・スタート

表示中は開始時刻の設定が可能です。

・確認

表示中は各設定の確認が可能です。

・散水中

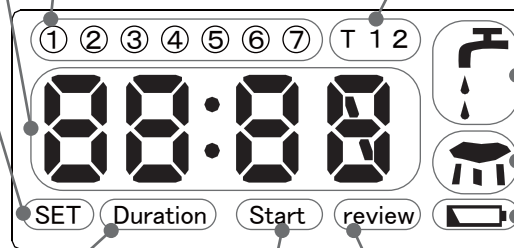
散水中に表示します。

・センサー作動中

センサー作動中に表示します。

・電池残量

電池残量が少ない時、表示します。



3. 取り付け

⚠ 注意事項

- ・ネジ部分にはゴムパッキンかシールテープが必要です、ゴムパッキンは密着するように奥までねじ込んで下さい。
- ・配送時の振動で電磁弁が開いている場合があります。電池を入れた後に手で散水停止の操作をして下さい。【手順は16ページを参照下さい。】

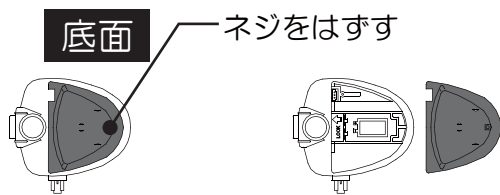
電池の入れ方



- ・電池を入れた時には最初に現時刻設定をする仕様になっています。
- ・プラスドライバーが必要になります。

・本体底部のネジを外すと、カバーが外せます。

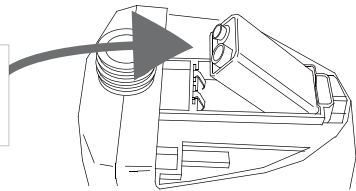
- ・9Vアルカリ電池（別売）を極性（プラス、マイナス）に注意して入れて下さい。
- ・電池交換の際には30秒程度、設定プログラムをメモリーします。



電池を入れる時のお願い

電池を入れる場合は電極側を後で入れる様にして下さい。本体の端子と電池の電極が頻りに接触と離脱を繰り返すと故障する恐れがあります。間違えた場合はしばらく後にやり直して下さい。【20ページ参照】

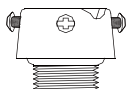
電極側は後から入れて下さい。



立水栓用の取り付け

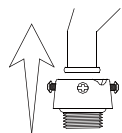
【C10SBC001/C10SBC001R/C10SBC002-1】

①水栓コネクターのビスを緩めます。



自在水栓、角口水栓には取り付けられません。

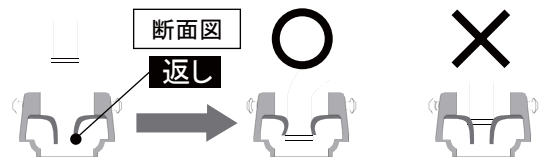
②蛇口に取り付けてビスを3方向から均等に締めます。



しっかり取り付けしないと水漏れします。

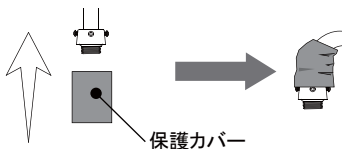


水栓コネクタについて



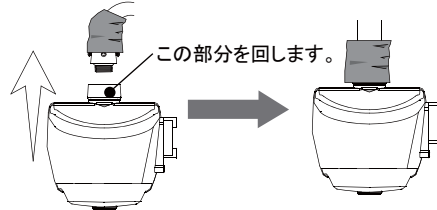
水栓コネクターの内部ゴムの「返し」まで差し込まないと水道圧で抜ける恐れがあります。

③保護カバーを蛇口側にかぶせ、ネジ部分を出します。



保護カバー

④水栓コネクタと本体を取り付け、保護カバーを下げます。



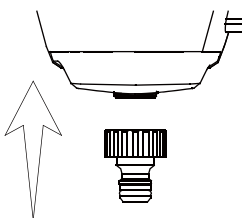
この部分を回します。



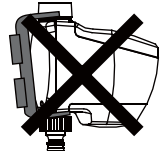
保護カバーについて

保護カバーは合成繊維で出来ており、若干の保温効果があります。ただし、凍結を完全に防止する事は出来ませんので冬季はコントローラ本体を蛇口から取り外して下さい。【18ページを参照下さい。】

⑤ネジロ金を取り付けます。

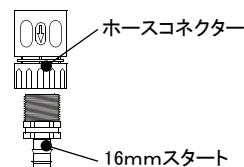


本体側のネジを付け過ぎると壁面固定ブラケットに干渉しますので、ご注意ください。



⑥16mmスタートを取り付けて、ネジロ金に差し込みます。

減圧弁無し



ホースコネクタ

16mmスタート



16mmスタートのネジ部分は半分程度しか入りません。減圧弁を取り付ける場合は7ページを参照下さい。

7ページに続く

3. 取り付け

⚠ 注意事項

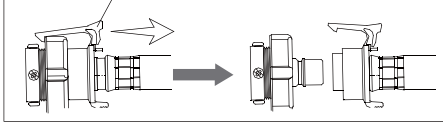
- ・ネジ部分にはゴムパッキンかシールテープが必要です、ゴムパッキンは密着するように奥までねじ込んで下さい。
- ・配送時の振動で電磁弁が開いている場合があります。電池を入れた後に手で散水停止の操作をして下さい。【手順は16ページを参照下さい。】

散水栓用の取り付け 【C10SBC0011/C10SBC011R/C10SBC012-1】

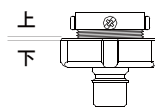
① 耐圧ホースから口金を外します。

⚠ 耐圧ホースの外し方

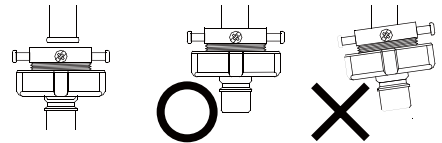
押しながらスライドさせて抜きます。



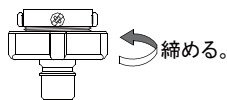
② 口金の上下部品をゆるめて2mm以上開けます。



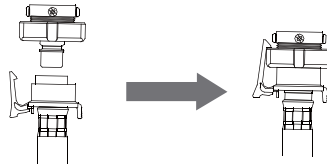
③ 口金のビスをゆるめた後に蛇口に水平に当てて、ビスを均等に締め付けします。



④ 口金のゆるめた部分をしっかりと締めます。
(パッキンが蛇口に当たる様に)



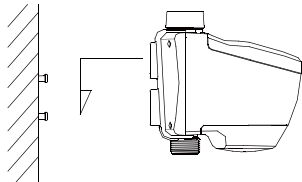
⑤ 口金にホースを差し込みます。



⚠ 耐圧ホースについて

耐圧ホースの脱着部分は専用の形状になっています。市販のワンタッチ脱着継手は取り付けられない場合がありますのでご注意下さい。

⑥ 柱や壁面などにビスを取り付け、頭を少し出して、本体背面の固定用ブラケットに引っ掛けます。(ビス別途)



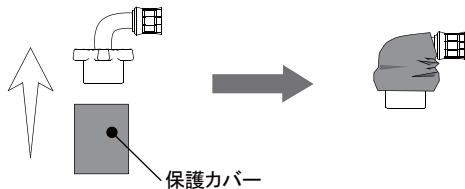
⚠ センサーについて

レインセンサーの本体が雨に当たらない場所にあると十分に機能しません。詳細に付いては8ページを参照下さい。

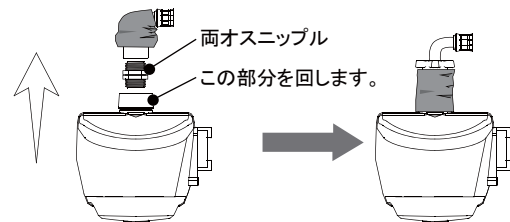
⚠ 保護カバーについて

保護カバーは合成繊維で出来ており、若干の保温効果があります。ただし、凍結を完全に防止する事は出来ませんので冬季はコントローラ本体を蛇口から取り外して下さい。【18ページを参照下さい。】

⑦ 保護カバーを耐圧ホースの先端にかぶせて、ネジ部分を出します。



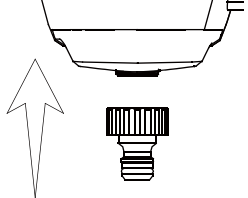
⑧ 耐圧ホースと本体を付属のニップルで取り付けて、保護カバーを下げます。



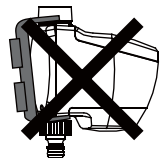
⑨ ネジ口金を取り付けます。

減圧弁無し

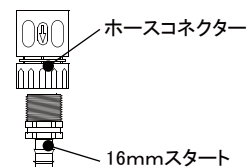
減圧弁を取り付ける場合は7ページを参照下さい。



本体側のネジを付け過ぎると壁面固定ブラケットに干渉しますので、ご注意ください。



⑩ 16mmスタートを取り付けて、ネジ口金に差し込みます。



16mmスタートのネジ部分は半分程度しか入りません。

7ページに続く

減圧弁の取り付け

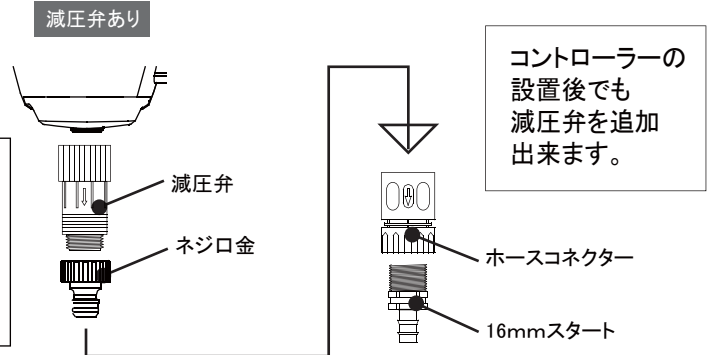
【C10SBC002-1/C10SBC012-1/C10SBC110】

本体とネジロ金の上に減圧弁を取り付けします。
ホースコネクターと16mmスタートをそれぞれ取付けて差し込みます。
(右図参照)



以下の場合には、減圧弁側面から水が出ます。

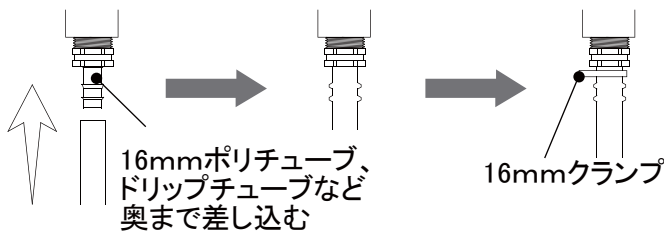
- ・規定以上の高水圧負荷が掛かり、減圧弁の機構が破損した場合
- ・減圧弁入り側のゴムパッキンに異物が噛んだまま接続がされている場合
(ゴムパッキンが密着していない状態)



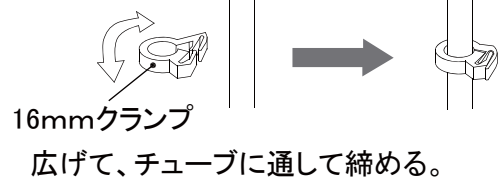
チューブの接続

【C10SBC002-1/C10SBC012-1/C10SBB111】

16mmスタートにチューブ（別売品）をしっかり奥まで差し込み、付属の16mmクランプで固定します。

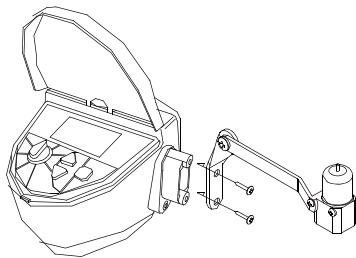


⚠ 16mmクランプの取り付け

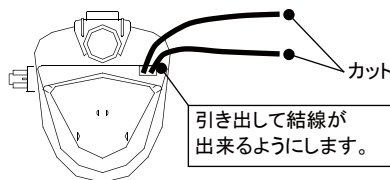


レインセンサーの接続 (追加で取り付けをする場合)

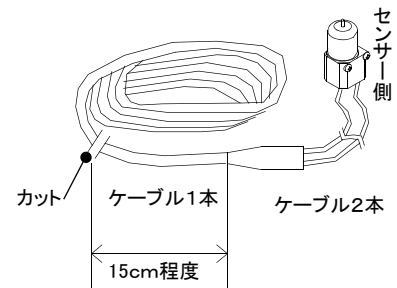
① センサーと本体を固定します。
(ビスはセンサーに付属)



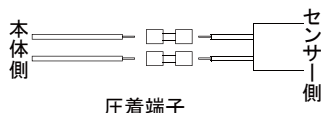
② 本体底面のケーブルを引き出して切り取ります。



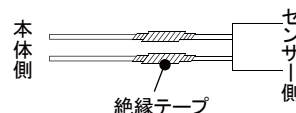
③ センサーの結線を適当な長さにカットします。(1本になっている部分から15cm程度)



④ センサー用ケーブルとセンサーの結線を行います。
(+極性はありません。)



⑤ 結線部分を絶縁テープなどで保護します。



圧着端子(別売)などを使用して、接続して下さい。



センサー接続後は15ページを参照の上、センサー作動の設定を行う必要があります。

レインセンサーの商品特長

センサーの仕様については
15ページも参照下さい。

レインセンサーは雨の有無を感知するまでに、一定の時間を要する仕様になっています。

雨感知の仕組みはセンサーキャップ内部にある験湿板コルクの吸湿、乾燥具合により、雨量を感知する仕様になっています。（下記参照）

そのため、自動散水開始の直前や最中に雨が降り始めた場合には『雨が降っているのに散水をしている。』事や、逆に『晴れているのに散水されない。』と言った事が起こり得ます。故障ではなくあくまで雨量を感知、復旧までに一定の時間を要する本製品の仕様としてご理解を頂き、ご了承下さいます様お願い申し上げます。

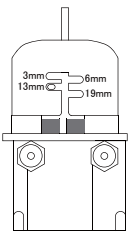
レインセンサーを本体と離す場合

レインセンサーを本体から離す場合は、下記の「設置場所についての注意事項」を参照して設置して下さい。

レインセンサーが取付済みの商品は本体から最大2.5m離す事が出来ます。センサーと本体のビスを外してケーブルをゆっくり引っ張り出して下さい。固定する壁面に合わせてビスやアンカーを別途ご用意下さい。

レインセンサーの感知雨量調整

- ◆レインセンサーは自動散水を中止させる感知雨量を4段階で調節出来ます。
(3mm、6mm、13mm、19mm)



感知雨量の調節を行う場合には、センサーキャップを回転させ、希望する降雨量の位置に設定します。強くひねるとピンが壊れるのでご注意下さい。センサーが作動して、散水を中止した後の復旧時間は天候状況で変化します。センサーキャップ下の換気孔のリングを回して、開き具合を調整すると乾燥までの復旧時間が調整出来ます。

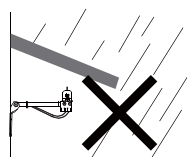


設置場所についての注意事項

本製品は『土（水を撒く場所の土壌）』と『センサー（内蔵の験湿板コルク）』との水分に対する湿潤や、湿った状態からの乾燥具合が似ている事を利用して、験湿板コルクがセンサー内部のスイッチを干渉する仕組みになっております。

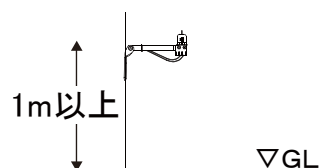
日当たりや風通しの良い場所では験湿板コルクが早く乾き、日陰で風通しが悪ければ験湿板コルクの乾きが遅くなり、散水の停止期間が長くなります。以下の場所は避けて設置して下さい。

軒下や物陰になる場所



屋根や軒下で雨が当たらない場所【センサーが動きません】

子供が触れる低い場所



子供や動物が触れる高さの場所（低くなる場合はセンサーの作動を定期的にご確認下さい。）

雨以外の水が掛る場所



雨以外の水分（散水の水や家庭排水など）が掛る事が想定される場所

4. 操作方法

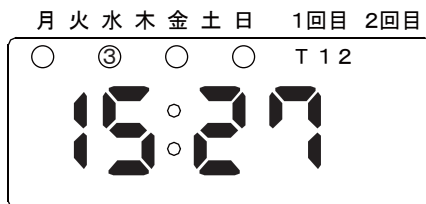
液晶表示とコントローラーの状態

このコントローラーは液晶で現在の状態が確認出来ます。



- ボタンを1分程押さない状態が続くと、自動的に待機状態に切り替わります。
- ダイアルが《自動運転》の状態ですぐに上記以外の表示が出た場合はご連絡下さい。

普段の液晶表示



ダイアルが「自動運転」の時は自動散水待機の状態ですぐに現在の時刻が表示されます。

上の例は

- 水曜日 15時27分（本日の現時刻）
- 散水回数：1日2回設定済
- 散水日：月、水、金、日に散水する様に設定済

散水時の液晶表示



散水中は現在時刻が表示され、蛇口から水滴が落ちる表示をします。
※手動散水時は残り時間が表示されます。

センサー作動時の液晶表示



スイッチをセンサー作動にして、降雨がありセンサーが働いている場合は現在時刻と、雨雲のマーク表示され、自動散水は行われません。手動運転も出来ませんので、解除して下さい。（解除手順は15ページ参照）



レインセンサーについて 覚えておいて頂きたい事

レインセンサーの構造上、降雨時でも散水する場合、晴天時でも散水されない場合があります。以下のような場合は故障ではありませんので、ご注意ください。

- ①散水開始時刻の直前や散水中に雨が降り出した時に水が出ている場合
- ②散水開始時刻の数時間前にまとまった降雨があり、散水時刻になっても水が出ない場合
- ③コントローラー本体がセンサーとの接続を認識するのに1分程度かかりますので、設定を切り替えした直後は、画面表示が変わらない場合があります。

散水停止時の液晶表示



ダイアルを散水停止に合わせると「OFF」が表示され設定を残したまま、自動散水は行われません。ダイアルを「自動運転」に合わせると復旧します。

電池消耗時の液晶表示



電池が消耗すると右下に電池のマークが表示され、散水されなくなりますので、電池を交換して下さい。

4.

操作方法



- ・ボタンを1分程押さない状態が続くと、自動的に待機状態に切り替わります。
- ・配送時の衝撃等で電磁弁が開いている場合があります。電池を入れた後に手で散水停止の操作をして下さい。【手順は16ページを参照下さい。】

基本操作

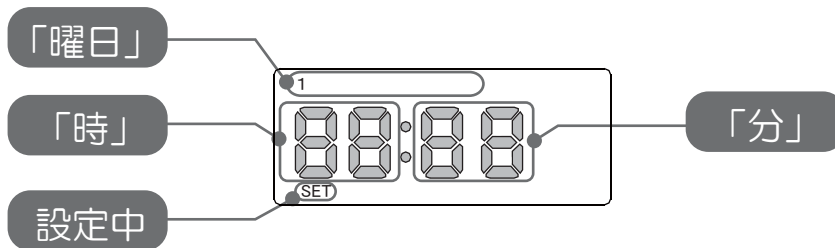
- i. 現時刻の設定・・・・・・・・・・10
- ii. 散水の設定「1回目」、「2回目」・・・12
- iii. 散水日の設定・・・・・・・・・・14
- iv. センサー「作動」、「解除」の設定・・・15
- v. 手動運転の設定・・・・・・・・・・16
- vi. 散水停止の設定・・・・・・・・・・17

補足事項

- ・設定確認画面・・・・・・・・・・11
- ・設定ミス防止・・・・・・・・・・13
- ・レインセンサーの仕組み・・・・・・・・15
- ・設置後に蛇口を開けただけで水が止まらない場合・・・・・・・・16
- ・冬季の使用について・・・・・・・・17

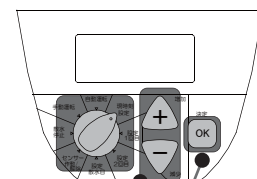
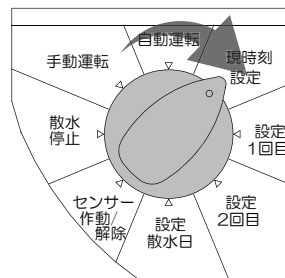
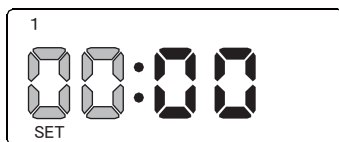
i. 「現時刻」の設定

0：設定中の液晶表示



1：ダイヤルを「現時刻設定」に合わせます。

点滅箇所が「:」から「時」に変わります。



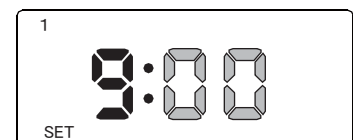
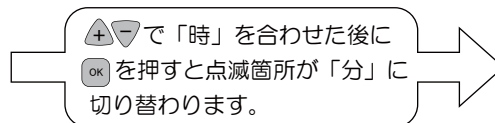
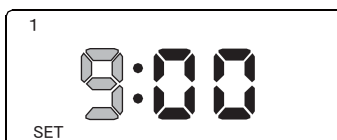
電池を入れた時には最初に現時刻設定をする必要があります。

数値増減 (+、-)

OK (決定)

2：時を + - で合わせて、OK を押します。

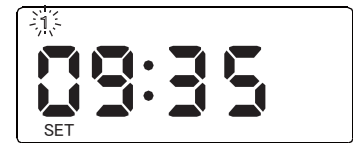
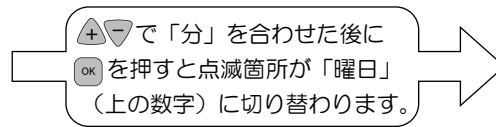
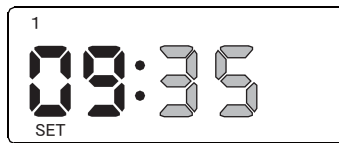
24時間表記になりますので、ご注意ください。



OK を一度押すとやり直しが出来ません。お手数ですが、最初からやり直して下さい。

次ページに続く

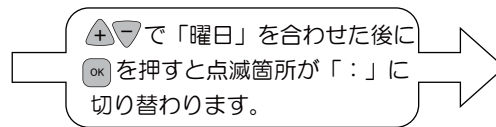
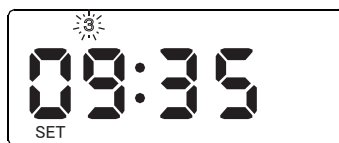
3：分を▲▼で合わせて、OKを押します。



4：曜日を▲▼で合わせて、OKを押します。

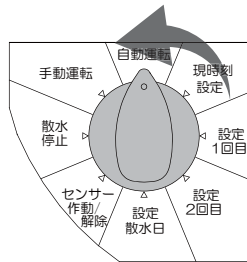
数字での表記になりますので、ご注意ください。

表示	1	2	3	4	5	6	7
曜日	月	火	水	木	金	土	日



5：ダイヤルを「自動運転」に戻して、完了です。

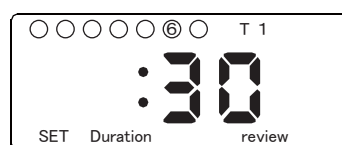
設定確認が表示された後、現時刻が表示されます。【下記参照】



設定確認画面

ダイヤルを自動運転に戻すと、設定確認画面が以下のように表示された後、現時刻が表示されます。(2回表示されます。)

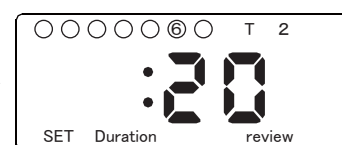
1回目：8時00分開始_30分間散水/2回目：17時15分開始_20分間散水の場合



散水時間：1回目_30分



開始時刻：1回目_8時00分



散水時間：2回目_20分



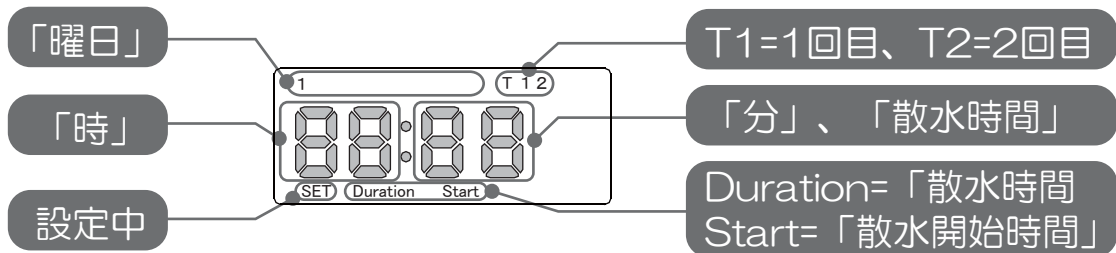
開始時刻：2回目_17時15分

ii. 散水の設定 「1回目」、「2回目」



- 水をまく時間の長さ（0分～最大99分）と開始時刻を設定します。
- 曜日の設定は「散水日」【12ページを参照】で行います。
- 1日最大2回の散水が出来ます。（ダイヤルの切替が必要です。）
- それぞれの入力後、「OK」を押さないと設定が実行されません。

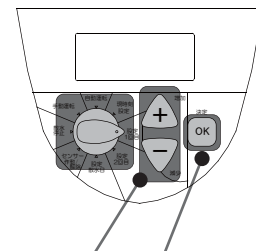
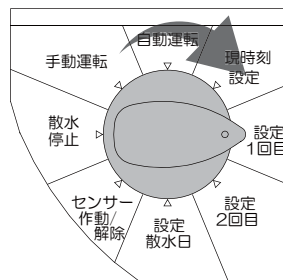
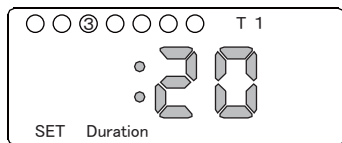
0：設定中の液晶表示



OK を一度押すとやり直しが出来ません。お手数ですが、最初からやり直して下さい。

1：ダイヤルを「設定1回目」に合わせます。

液晶表示が設定画面に切り変わります。
(下図参照)



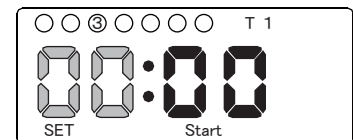
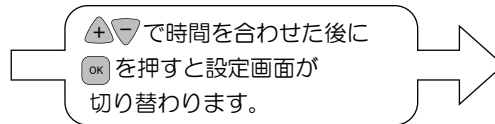
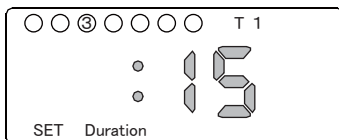
⚠ 既に設定が入力されている場合は、表示される画面が異なります。

数値増減（+、-）

OK（決定）

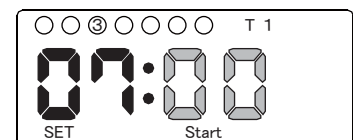
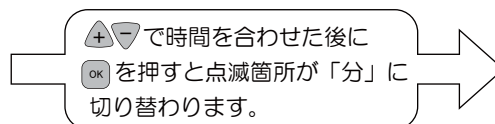
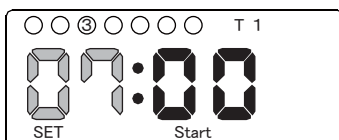
2：水をまく時間を▲▼で入力し、OKを押します。

最長で99分（1時間39分）です。
「0分」（Duration :00）の場合は、散水されません。



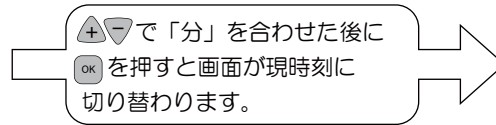
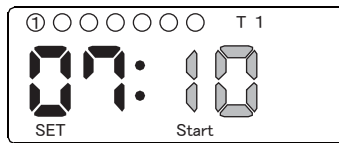
3：水をまき始める時間の「時」を▲▼で合わせて、OKを押します。

24時間表記になりますので、ご注意ください。



次ページに続く

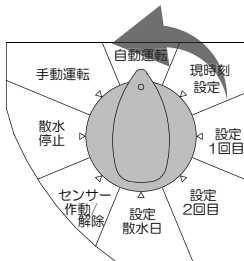
4：分を▲▼で合わせて、OKを押します。



OKを一度押すとやり直しが出来ません。お手数ですが、最初からやり直して下さい。

5：ダイヤルを「自動運転」に戻して、完了です。

設定確認が表示された後、現時刻が表示されます。【11ページ「現時刻の設定」参照】
散水日の設定は別途行う必要があります。【14ページ「散水日の設定」参照】

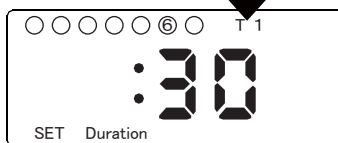


「2回目の設定」

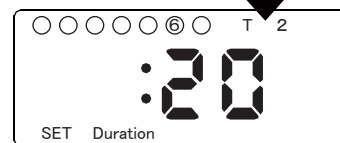
ダイヤルを「設定 2回目」にすると、同様の手順で2回目の設定が出来ます。
1回目とは液晶表示が異なります。（下図参照）

液晶画面の「T *」の数字が異なります。

設定：1回目



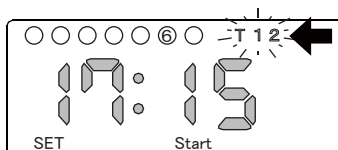
設定：2回目



2回目の開始時刻の方が早くても散水は実行されます。

「設定ミス防止」

設定の1回目と2回目の時刻が重複して入力した場合は、リセットされて
入力がやり直しとなります。



「T1 2」と「時刻」が数回点滅した後、手順2に戻ります。
分からなくなった場合はダイヤルを「自動運転」に戻して、
入力済みの設定を確認後、やり直して下さい。

開始時刻と散水時間のどちらか一方が、重複している場合にリセットされます。

iii. 散水日の設定



- 曜日毎に散水日の設定が可能です。
- 水をまく日の設定後は、現時刻表示の際に○囲みで表示されます。
- 曜日によって1日1回の日と、2回の日を分ける事は出来ません。
- それぞれの入力後、「OK」を押さないと設定が実行されません。

0：設定中の液晶表示

「曜日」

設定中

各曜日は数字での表記になります。
ご注意ください。

表示	1	2	3	4	5	6	7
曜日	月	火	水	木	金	土	日

1：ダイヤルを「設定散水日」に合わせます。

液晶表示が設定画面に切り変わります。

+ 曜日送り
- 散水実行選択

OK (決定)

毎日水をまく設定の
液晶表示

月火水木金土日 1回目 2回目
○○○○○○○ T12
15:27

月曜に週に1回水をまく
液晶表示

月火水木金土日 1回目 2回目
○ 3
15:27

2：水をまく日を▼で「○囲み」にし、▲で次の曜日にします。(繰り返し)

▼を押す度に「○囲み」と「囲み無し」が切り替わります。

前の日に戻す操作は出来ませんが、「7」の時に▲を押すと「1」に戻ります。

▼で設定した後に
▲を押すと点滅箇所が
次の日に切り替わります。

3：すべての曜日を設定出来たらOKを押します。

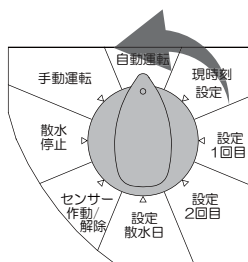
OKを押すと点滅箇所が変わります。

OKを一度押すとやり直しが出来ません。お手数ですが、最初からやり直して下さい。

4：ダイヤルを「自動運転」に戻して、完了です。

設定確認が表示された後、現時刻が表示されます。【11ページ「現時刻の設定」参照】

水をまく時間、まき始める時間の設定は別途行う必要があります。【12ページ「散水の設定」参照】



iv. センサー「作動」、「解除」の設定

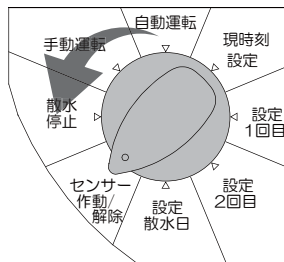
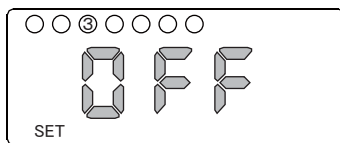


- レインセンサーを使用する場合には設定が必要です。
- レインセンサー付き機種も設定をして下さい。
- 入力後、「OK」を押さないと設定が実行されません。

1：ダイヤルを「センサー作動/解除」に合わせます。

液晶表示が設定画面に切り替わります。
(下図参照)

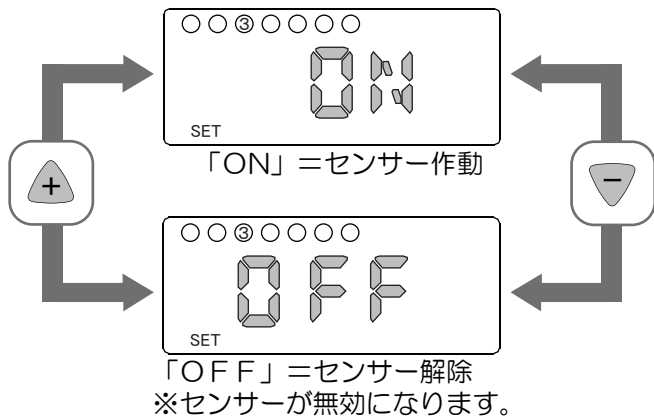
既に設定が入力されている場合は、
表示される画面が異なります。



コントローラー本体がセンサーとの接続を認識するのに1分程掛かります。
設定を切り替えした直後は画面表示が正しく出ない場合もあります。

2：**+** **-** でON、OFFを切り替えます。

初期設定は「OFF」になっています。**+** **-** どちらのボタンでも変更可能です。



レインセンサーについて 覚えておいて頂きたい事

レインセンサーの構造上、降雨時でも散水する場合、晴天時でも散水されない場合があります。以下のような場合は故障ではありませんので、ご注意ください。

- ①散水開始時刻の直前や散水中に雨が降り出した時に水が出ている場合
- ②散水開始時刻の数時間前にまとまった降雨があり、散水時刻になっても水が出ない場合

3：**OK** を押して、ダイヤルを自動運転に戻します。

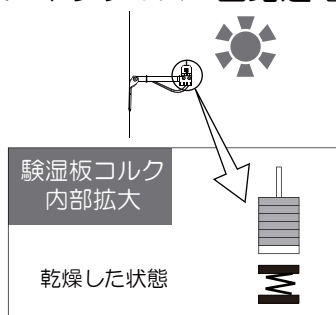
OK ボタンを押さないと変更が設定されません。

センサー作動中のみ画面表示が変わります。【9ページ「センサー作動時の液晶表示」参照】

レインセンサーの仕組み

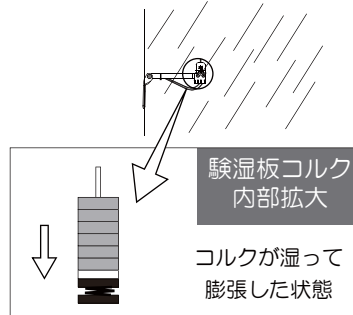
晴天の時

スイッチOFF=回路通電



雨が降ると…

スイッチON=回路遮断



験湿板コルクについて

験湿板コルクは消耗品です。膨張と乾燥を繰り返す内にコルク自身が劣化してセンサーの機能が正常に作動しなくなる場合があります。験湿板コルク内蔵のセンサーキャップのみの販売もしておりますので、取付工事業者や販売店などへお問い合わせ下さい。
(交換時期の目安は5年程度です。)
【商品コード：C10SW500】

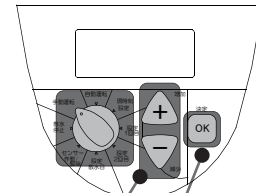
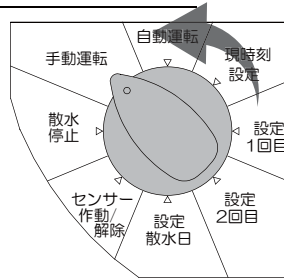
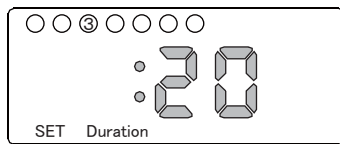
V. 手動運転の設定



- 設定済みの時間でも散水が可能です。
- 最大で99分まで散水が出来ます。
- センサーが作動している場合は解除して下さい。

1：ダイヤルを「手動運転」に合わせます。

液晶表示が設定画面に切り変わります。
【下図参照】



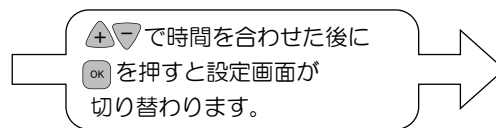
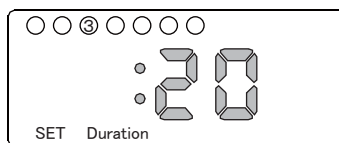
既に設定が入力されている場合は、表示される画面が異なります。

数値増減 (+、-)

OK (決定)

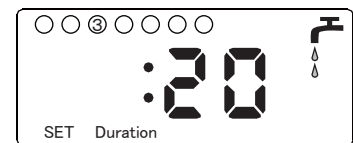
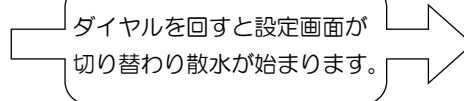
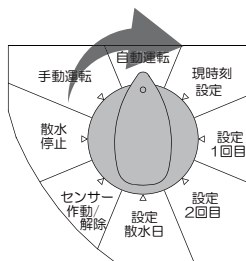
2：水をまく時間を + - で入力し、OK を押します。

最長で99分（1時間39分）です。
「0分」（Duration :00）の場合は、散水されません。



3：ダイヤルを「自動運転」に戻すと散水が始まります。

散水が終わると待機状態に戻ります。
液晶表示は1分弱で消えますがコントローラーは作動しています。



設置後に蛇口を開けただけで
水が出て止まらない場合

故障ではなく、配送時の衝撃等で電磁弁が開いている場合があります。電池を入れた後に手動散水と散水停止の操作をして下さい。

- 最初に蛇口を閉めて下さい。
- 始めて電池を入れた時には、最初に現時刻設定を行う必要があります。
【10ページ「現時刻設定」をご参照下さい。】
- 電池を装着した時や交換した時には念のため手動運転と散水停止を順に行い、空運転した後に自動運転にダイヤルを合わせてお使い下さい。

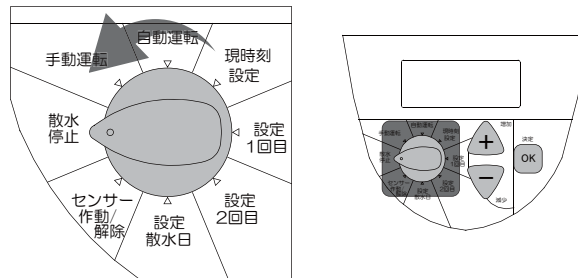
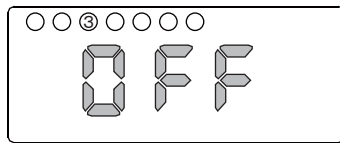
vi. 散水停止の設定



- 散水中に緊急停止することが出来ます。
- 設定を残したまま、自動運転を中断する事が出来ます。
- (設置直後の時) 配送時に開放されている電磁弁を閉じます。

1：ダイヤルを「散水停止」に合わせます。

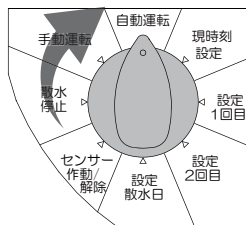
液晶表示が設定画面に切り変わります。
(下図参照)



2：水が止まった事を確認して、ダイヤルを自動運転に戻して下さい。

散水停止のままにしておくとも設定時間になっても水は出ません。

散水中に中断した場合は1回分がキャンセルされますので、次の設定時間まで水は出ません。

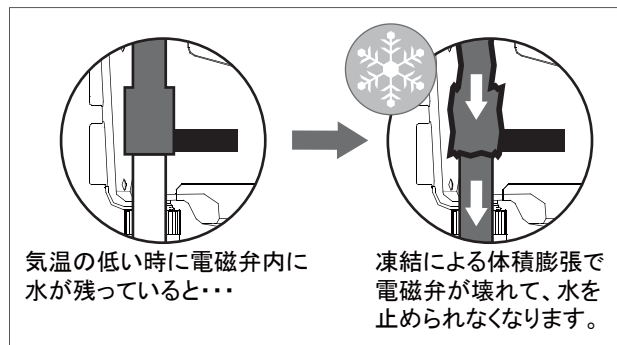
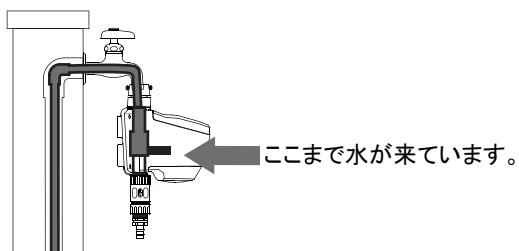


冬季の使用について

簡易コントローラーは寒い時期にそのままにしておくとも破損する事があります。
必ず蛇口からの取り外しと水抜きを実施し、室内にて保管して下さい。

凍結による破損の仕組み

水は簡易コントローラー内部の電磁弁まで来ており、通常は電磁弁が水を止めています。内部の水が凍ると体積が膨張して電磁弁が破損し、水が止まらなくなってしまいます。



冬期の水抜き手順

! 冬期は凍結による破損防止のため、使用を中止し、水抜きをして室内に保管して下さい。

1：蛇口を閉めて、水を止めます。

散水中の場合は手動停止して下さい。

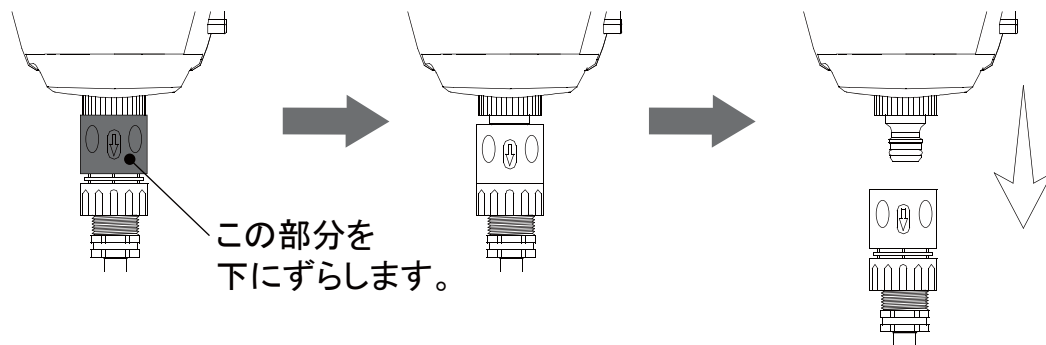
2：手動操作をして、コントローラー内部の水を抜きます。

16ページ「手動運転の設定」と17「散水停止の設定」ページをご参照下さい。

3：コントローラー下部のワンタッチコネクターを外します。

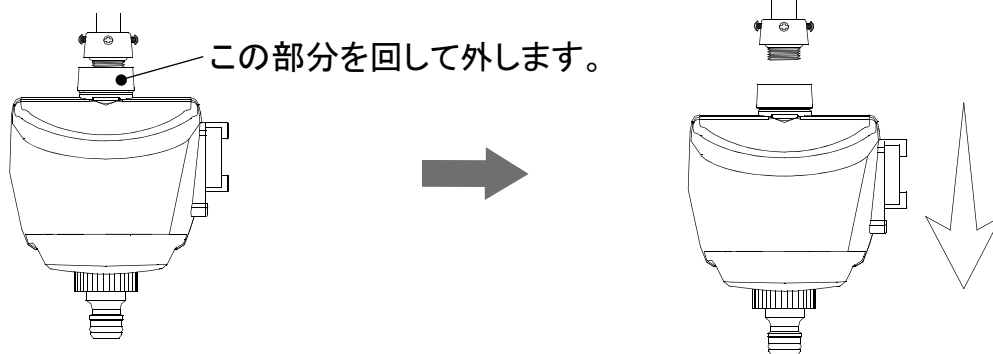
コネクターの可動部分をスライドさせて、ホースとコントローラーを取り外します。

取り外した際に水が噴き出る場合がありますので、ご注意ください。



4：コントローラー上部のネジを外します。

コントローラー上部のネジを回して、蛇口とコントローラーを取り外します。



5：コントローラーを逆さまにして、数回降って内部の水を抜きます。

コントローラーを落とさない様にご注意下さい。

6：コントローラーを室内の凍結しない場所で保管して下さい。

電池を抜くと設定済みの散水時間が消えてしまいます。

! 取り外したホースの内部に砂などが入らない様に、端部をテープ等で保護して下さい。

水抜きからの復旧方法

1：コントローラーの電池残量を確認します。

電池残量が少ない場合は、新しい電池と交換して下さい。
電池が無くなると自動散水されません。

2：蛇口とコントローラー、ホースを取り付けします。

5ページ以降の「取り付け」の手順と、18ページの「冬季の水抜き」の手順を参照下さい。

3：蛇口を開けて、試しに手動運転を行います。

16ページの「手動運転の設定」を参照下さい。

4：設定が正しく入力されているか確認して下さい。

10ページ以降の「操作方法」を参照下さい。

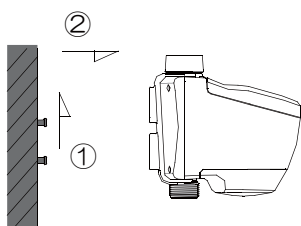


注意事項

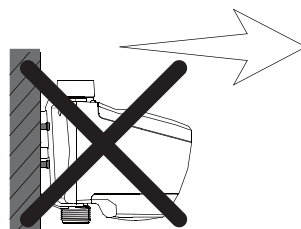
・ネジ部分には必ずシールテープをして下さい、水漏れの原因になります。

壁面固定した場合

本体付属のブラケットを使用して壁面固定した場合、一度上にスライドさせてから手前に引いてから取り外すようにして下さい。無理に手前に引くとブラケットが破損する場合があります。



- ①上にあげます。
- ②手前に引きます。



そのまま引っ張らないで下さい。



壁面固定してある場合の断面イメージ

5.

よくあるQ&A

ご使用中に異常が、みられた時は下記の項目を点検して下さい。

症状	原因	解決方法	参考ページ
画面が表示されない。	電池切れ	電池を入れ替えて下さい。	5
	散水停止になっている	どれかのボタンを押して起動する。	9
	回路の一時ショート(フリーズ) ※電池取付直後	電池を抜き、1時間程度経ってから電池を入れ直して下さい。	5
画面が正しく表示しない。 ※電池取付直後	電池の接触不良	電池を入れ直して、1分程待ってから設定して下さい。	5
時間通りに散水されない	水栓(蛇口)で水が止められている	水栓(蛇口)を開けて下さい。	—
	ホース、チューブが抜けている(切れている)	ホースを正しく接続し直す。切断されている場合は交換、または補修を行って下さい。	5
	センサー作動	センサーが作動中。	9
	電池切れ	電池を入れ替えて下さい。	5
	マンガン電池の使用	アルカリ電池に変えて下さい。	—
	ダイヤルが散水停止になっている	休止状態になっている。ダイヤルを「自動運転」にして下さい。	17
	設定が正しくない	設定時間を再度設定する。	10
水が止まらない	電磁弁詰まり	本体(電磁弁)の取替	—
	凍結による電磁弁破損	本体の取替	17
	配送時の電磁弁解放(初回のみ)	手動で停止する。	16
センサーが作動しない。	設定ミス	正しく設定して下さい。	10
	接続不良	センサーが正しく接続されているか確認して下さい。	7
	センサーの設定降雨量が多い	センサーの降雨量設定を変更して下さい。	8



万一電池のプラスマイナスを間違えて、逆に入れてしまった場合、電池が異常過熱する場合があります。

その場合は、すぐに電池を入れずに1時間ほど経ってから正しく投入して下さい。

※上記以外の症状が見られた場合は当社までお問い合わせ下さい。